

令和6年度 呉の学校教育

未来を創る人材の育成

呉に学び 自分を磨き 未来を創る



呉市では教育大綱の目標として「若い世代が安心して子どもを産み育て、未来を創る人材を育てるまち」「文化芸術やスポーツに親しみ、生涯を通じて学ぶことができるまち」を掲げ、その実現に向けた「教育振興基本計画」を策定しています。

これらを受け、学校教育では、昨年度に引き続き「防災教育の深化」「授業改善の推進」「個を大切にした支援の充実」を重点施策に掲げました。日々進化していくAI技術等、時代の変化に取り残されないよう、学校教育の様々な場面でICTの効果的な活用を取り入れながら、新しい時代に求められる資質・能力を育成します。

そのために、これまで本市が進めてきた小中一貫教育の原点「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」を一層大切にしたい取組を基盤とし、家庭や地域社会と協働しながら、全ての子どもたちにとって安全・安心で信頼される学校づくりを目指します。



ホームページ
掲載版



呉市教育大綱



呉市教育振興基本計画

呉市教育委員会

呉に学び 自分を磨き 未来

を創る

【呉の学校教育グランドデザイン】

“つながり”を重視した教育を展開し、新しい時代に求められる

資質・能力を育成します!



目指す姿の“つながり”

心身の発達の段階や特性を踏まえ、幼児教育、小中一貫教育（小・中学校）、高等学校教育等を通じて、系統的に資質・能力を育成します。

家庭、地域社会との“つながり”

教育方針や特色ある教育活動の取組、子どもの状況などについて家庭や地域社会の理解を求め、協力を得るとともに、連携を図りながら教育活動を展開します。

異年齢や学校段階等間の“つながり”

異年齢の子どもなど、様々な人々と世代を越えた交流を通して、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を養い、自尊感情の向上を図ります。

「地域の人・もの・こと」との“つながり”

各中学校区の特色を生かし、地域の人・もの・ことを活用しながら、世界につながる教育、未来につながる教育を展開します。
また、多様な学びを子どもたちが地域等で表現する“学びの発信”を大切にします。

学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性等

生きる力

実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力等

生きる力

学習内容、

小中一貫

中1ギャップの解消と自尊感情の向上

教育

のための取組を基盤とした資質・能力の育成

幼児教育

前期

小1

小2

小3

小4

小5

中期

小6

中1

後期

中2

中3

高等学校教育等

目指す姿

である

- ・先生や友達にである
- ・地域の人・もの・ことにである

かかわる

- ・地域の人・もの・こととかかわる

つ

- ・地域

ながる

- ・人・もの・こととつながる

貢献する

- ・自他の成長のために貢献する
- ・地域社会に貢献する

創り出す

- ・持続可能な社会の創り手として新たな価値を創り出す



カリキュラムマップ 各中学校区で設定した資質・能力の育成に向け、総合的な

呉版年間指導計画 カリキュラムマップに基づき、資質・能力を育成するために、

呉版接続カリキュラム アプローチカリキュラム（年長）、スタートカリキュラム（小1）
幼保小の円滑な接続により、「育ってほしい姿」に向かうプロセスを大切に、安心して自己発揮できる教育・保育活動や環境等を創造するカリキュラム

カリキュラム・マネ

学習の時間を核として、9年間を見通した教育活動の全体像

より効果的に各教科等の単元等を配列した各学年の年間指導計画

マネジメントの充実

地域社会課題解決型キャリア教育カリキュラムなど
持続可能な地域社会の構築に向けた探究的なカリキュラム

「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を育成します

自己を認識する力

自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのか、など、自分自身のことを理解することができる力

自分の人生を選択する力

自分の将来の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力

表現する力

自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえよう工夫しながら伝えることができる力

連携

家庭・

協働

地域社会

呉市教育振興基本計画

呉市では、社会情勢等を踏まえながら、中期的かつ総合的な展望を持ち、教育行政を計画的・体系的に進めるため、令和4年3月、「呉市教育振興基本計画」を策定しました。

本計画では、目標を「未来を創る人材を育てる」とし、3つの基本施策を展開しています。

基本施策

- 義務教育の充実
- 高等学校教育の充実
- 安全・安心な教育環境の充実

【呉市教育振興基本計画の位置付け】

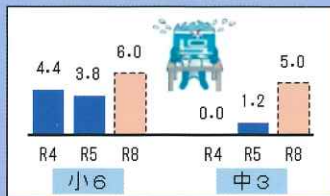


呉市の子どもたちの状況

(R8は「呉市教育振興基本計画」における目標値)

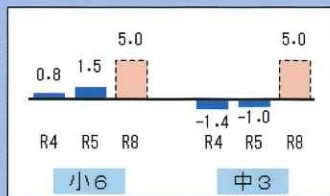
学力の状況は？

国語
(全国平均正答率との差)



《全国学力・学習状況調査》

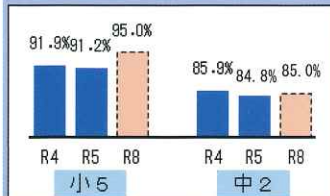
算数・数学
(全国平均正答率との差)



《全国学力・学習状況調査》

体力の状況は？

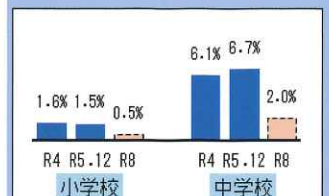
運動やスポーツが好き



《全国体力・運動能力、運動習慣調査》

不登校の状況は？

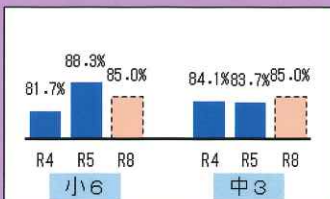
不登校児童生徒の割合



《児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査》

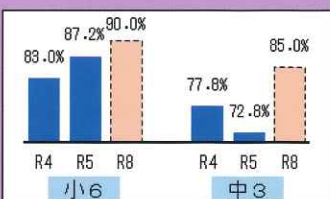
子どもたちの意識は？

自分にはよいところがある



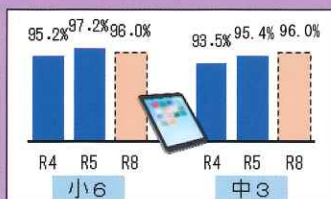
《全国学力・学習状況調査》

将来の夢や目標がある



《全国学力・学習状況調査》

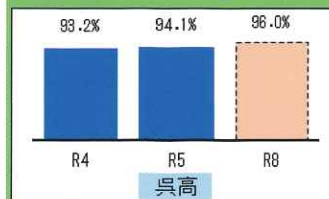
タブレット端末を活用するのは勉強に役立つ



《全国学力・学習状況調査》

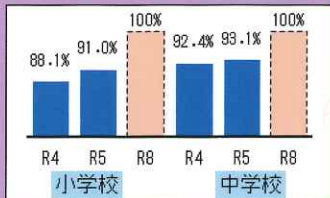
呉高等学校の状況は？

呉高等学校に行かせるよかったと感じている保護者



《学校評価(学年末)アンケート》

自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している



《「呉市学校防災週間」取組内容調査》

災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している



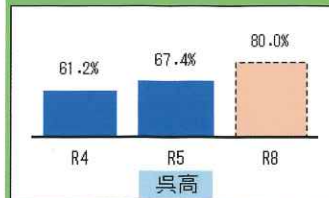
《「呉市学校防災週間」取組内容調査》

1か月の間に本を1冊も読んでいない



《広島県児童生徒学習意識等調査》

年間1回以上ボランティア活動に参加した



《学校評価年度末結果》

令和6年度 「呉の学校教育」重点施策

令和6年度、呉市では「安全・安心で信頼される学校」づくりを基盤としながら、「防災教育の深化」「授業改善の推進」「個を大切にした支援の充実」の3つを重点施策として取組を進めます。

防災教育の深化

授業改善の推進

個を大切にした支援の充実

防災教育の深化

～「自分の命は自分で守る力」を育成します～

ICTの
効果的
活用

地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育

◆呉市学校防災週間（7月6日を含む1週間）



避難所生活の模擬体験 防災朝会 防災士からの話 防災意識を高める掲示

生徒会による出前授業
中学生が同じ中学校区の小学校に出向き、防災教育の出前授業を実施

各学校の実態に合った取組を充実させ、主体的に行動する態度を養います！

◆「呉市防災教育のための手引き」を活用した実践

※義務教育9年間を見通し、土砂災害・洪水・高潮への対応に重点を置いたカリキュラム

【算数科】「重さ」の単元を通して、避難する時に自分に必要な防災グッズを選び、3kgの防災リュックをつくる学習

◆土砂災害対応携帯マニュアル（毎年、出水期前に全ての子どもたちへ配付）

家庭を巻き込んだ取組を進めます。

全ての子どもが家庭に持ち帰り、保護者と話し合いながら自分の避難場所や避難経路、避難のタイミングなどについて確認します。

◆家庭・地域を巻き込んだ防災教育



参観日での防災授業 地域合同防災訓練

学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高めます。

◆呉市防災教育研修会

（講師を招き、防災に関する専門的な研修）



教職員研修を充実させます。

授業改善の推進

～子どもの主体的な学びを実現します～

ICTの
効果的
活用

全ての教職員で進める授業づくり

◆生徒指導の実践上の視点

- ・自己存在感の感受
- ・共感的な人間関係の育成
- ・自己決定の場の提供
- ・安全・安心な風土の醸成



子どもの具体的な姿を思い浮かべながら、児童生徒理解に基づいた授業づくりを行います。

自分がしようと思うことを自分のペースで進めることができる。SSRがあれば学校しやすい。

◆特別支援教育の視点を取り入れた全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫

- ・場の構造化（物の配置などの固定化）
 - ・学習ルール（発表の仕方等）の設定
 - ・時間の構造化（単元や授業の流れなど）
 - ・モデル・ヒント・観点・視点の提示
 - ・動作化・作業化
 - ・肯定的な評価（自己評価・他者評価・相互評価等）
- 学習形態の工夫 学習内容の視覚提示



◆子どもの問いを生かした「考える授業づくり」

- ・子どもが生み出す問いの活用
- ・子どもの問いを基にした学習課題の設定
- ・問いの解決に向けた「思考を促す発問」の工夫
- ・振り返りの充実



友達と話し合ったら分かったよ。

なぜだろう。

先生が話しすぎず、子どもの思考の時間を確保します。

どうしたらいいのかな。

小中で進める授業改善

◆呉市「学びの変革」推進研修会



各校の「学びの変革」推進担当教員を対象に、研修を行います。

◆小中で創る「未来の学び」実践事業



小中一貫教育を基盤とし、20年後、30年後に役立つ資質・能力の育成に向けて、中学校区で研究を進めます。

（授業改善の推進）

個を大切にしたい支援の充実

～一人一人の実態や思いに寄り添います～

ICTの
効果的
活用

個に応じた支援と居場所づくり

◆SSR（スペシャルサポートルーム）



県SSR：吉浦中、阿賀小(R5)
市SSR：白岳小、横路小、仁方中、昭和中(R5)
独自にSSRを設置する学校も増えています。

◆呉市教育支援センター（つばきルーム）



中央ルーム、延崎ルーム、安浦ルームの3ルームとも2名の支援員により対応
令和6年度、「呉市適応指導教室」から「呉市教育支援センター」へ名称変更

◆SCHOOL“S”（広島県教育支援センター）

東広島市八本松の県立教育センター内に設置。来室利用やオンライン利用が可能です。

◆フリースクール

学校はフリースクールとも連携します。

◆相談窓口の紹介



相談することの大切さを伝え続け、相談には寄り添って対応します。

◆スクールカウンセラーの活用

- ・県のSCを各中学校区に1名派遣
- ・呉市のSCIは4名（うち1名は事務局常駐）



◆関係機関との連携

- ・特別支援学校（巡回相談の活用）
- ・少年サポートセンター（ひがしひろしま）
- ・広島国際大学心理臨床センター 等

◆教室（集中できる学習環境づくり～呉市のスタンダード～）



スッキリした黒板まわり 整然とした机の配置 ロッカーの整理整頓

◆支援のための会議



スクールカウンセラーやソーシャルワーカーにも助言を得ながら、情報共有したり、支援の具体を検討したりします。個別の教育支援計画等も活用します。

安全・安心で信頼される学校

学校における働き方改革の推進

教職員による不祥事の根絶

～ 児童生徒が安心して学び、成長する場としての居場所 ～

呉市が進める小中一貫教育



（小中一貫教育）

呉市では、平成19年度から全ての中学校区で小中一貫教育に取り組んでいます。その目的は、「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」を基盤として、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育成することです。

資質・能力の育成

中1ギャップの解消

自尊感情の向上



小中乗り入れ授業

異学年交流



小中合同研修会

小中一貫教育推進コーディネーター研修会

一体型	分離型	義務教育学校
<p>中学校と小学校の施設が一体化している中学校区です。</p> <p>4中学校区が施設一体型（広南、警固屋、呉中央、倉橋）</p>	<p>中学校と小学校の施設が離れている中学校区です。</p>	<p>呉市立天応学園</p> <p>コミュニティ・スクールを導入しました。</p>
<p>9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施した学校です。</p>		

「小中一貫教育」を進める呉の学校 ～一体型、分離型、義務教育学校～
これまで積み重ねてきた小中一貫教育の取組を基盤として、それぞれの形態で、特色を生かした取組を進めます。

令和6年度 小学校・中学校・義務教育学校の取組の紹介

学びの充実に向けて取り組んでいます！

◆ GIGA スクール構想の着実な推進



- ・学習支援アプリ「ロイノト・スクール」で仲間とともに創る学びを支援
- ・AI型デジタルドリルで一人一人に応じた学びを支援
- ・上記の学びを一体的に充実させ、新しい時代に求められる力を育成

◆ 英語教育の充実



- ・5ラウンドシステムを取り入れた中学校英語授業
- ・外国人講師（ALT16名）を活用した英語授業
- ・ALTと生徒が、オンラインでつながる英会話授業の実施

◆ 幼保小の連携



- ・『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携・接続の充実事業による研修会等の実施
- ・「呉版アプローチカリキュラム」、「呉版スタートカリキュラム」に基づいた幼保小連携の推進

一人一人の状況に応じて支援します！

◆ 不登校や不登校傾向、障害のある児童生徒へ



- ・生徒指導員(11名)
- ・学校教育指導補助員(58名)
- ・学校生活適応支援員(3名)
- ・特別支援学級指導員(58名)
- ・校内SSR支援員(4名)
- ・呉市教育支援センター支援員(6名)

◆ 日本語指導が必要な児童生徒へ



- ・外国籍等の子どもの受入体制の充実
- ・授業や懇談会における母国語通訳による支援(人権教育相談員)
- ・学校通信等の翻訳
- ・日本語指導のための講師(非常勤)措置

◆ 就学が困難な児童生徒へ



- ・経済的に困っている家庭への就学支援
- ・遠距離等通学費に対する支援
- ・スクールバス・タクシーによる通学支援

安全・安心で快適な教育環境の整備をします！

◆ 特別教室等への空調整備やトイレの洋式化



- ・耐震補強工事や建替工事(坪内小, 宮原小, 港町小)
- ・特別教室等の空調整備
- ・トイレの洋式化(目標: R7 洋式化率 91.4%)
- ・天応学園の既存校舎の改修等

豊かな心と身体を育成します！

◆ 命を大切にする教育



- ・学校とスクールカウンセラーによるアンガーマネジメント等の授業の実施
- ・各教科において命を大切にする教育との関連を図った授業づくり
- ・相談窓口の周知など、「SOSの出し方に関する教育」の実施

◆ 学校図書館の充実



- ・学校と学校司書(15名)が共に進める学校図書館の整備・充実
- ・各教科等における学校図書館の利活用の促進
- ・読み聞かせや推薦図書の紹介など、読書習慣の形成に向けた取組
- ・読書習慣の形成を支える環境整備

◆ ふるさと文化探訪, リンクアップコンサート等



- ・呉の文化や歴史に触れるふるさと文化探訪
- ・呉市立美術館・蘭島閣美術館の見学
- ・オーケストラ鑑賞教室(リンクアップコンサート)や地域等の講師による洋楽鑑賞会・邦楽鑑賞会

◆ いじめ撲滅キャンペーンの実施(年間2回)



- ・「いじめ0」ののぼりを持ったあいさつ運動
- ・いじめをテーマにした道徳の授業
- ・「いじめ撲滅宣言文」の唱和
- ・いじめ撲滅標語コンクールの実施『やってない』判断するのは君じゃない(令和5年度最優秀賞受賞作品)

◆ 魅力ある道徳教材の活用



- ・自作資料集「心豊かでたくましい呉の子どもをはぐくむ道徳」第1集～第3集の活用
- ・「日本遺産を題材とした道徳学習プログラム」の活用

◆ 健康・体力の推進



- ・トップアスリートによる体育の授業や部活動指導
- ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の活用(ホームページを通じて楽しく競い合える種目に学級単位で参加)

◆ 笑顔生み出す中学校給食の実現



R6	仁方, 郷原, 阿賀, 和庄, 東畑, 両城, 吉浦
R7	白岳, 広中央, 横路, 片山, 呉中央, 昭和, 昭和北

広南及び天応学園はR5に導入

令和6年度 呉高等学校の取組の紹介

呉高等学校は唯一の呉市立高等学校です。将来の職業選択を視野に入れた進路学習等を重視する総合学科の特色を踏まえ、3年間を見通した計画的なキャリア教育に取り組んでいます。また、令和6年度からコミュニティ・スクールを導入します。



フロンティア I



フロンティア II



部活動



ボランティア活動

市立学校の概要

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校
学校数	34	24	1	1
児童生徒数	8,528	4,663	269	437
学級数	425	197	13	12

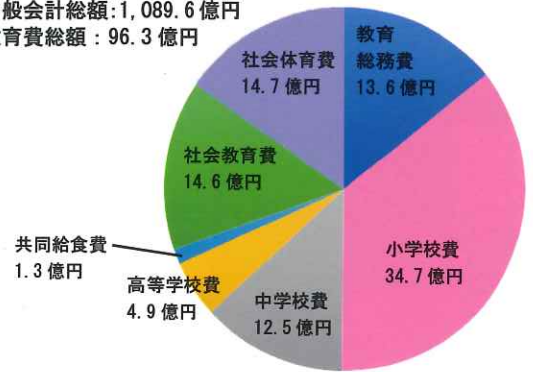
最新の児童生徒数等は
こちらへ



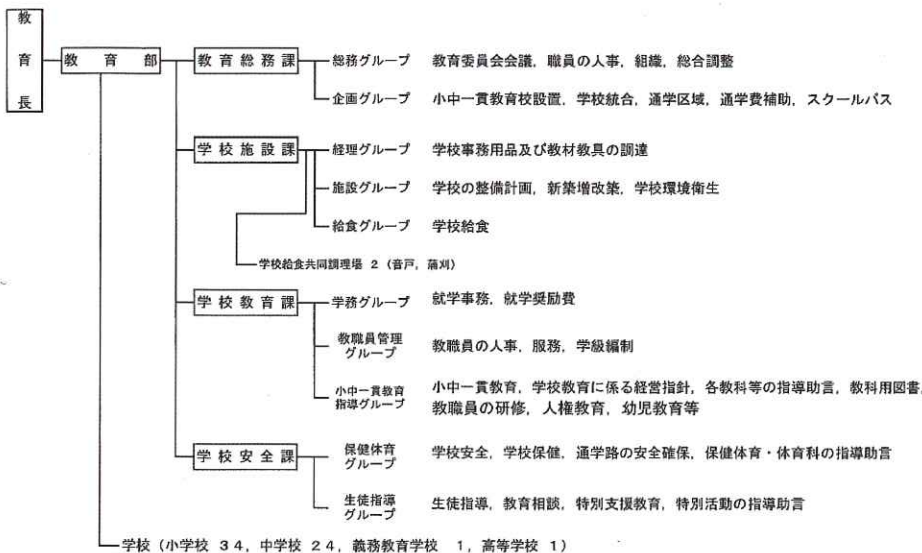
※学校数以外の数値は令和6年3月1日現在

教育費予算内訳

一般会計総額:1,089.6億円
教育費総額:96.3億円



機構及び事務分掌, 問い合わせ先



- ◇転校, 転学に関すること (0823)25-3453
- ◇就学援助に関すること (0823)25-3568
- ◇通学バスに関すること (0823)25-3625
- ◇いじめ, 不登校
特別支援教育に関すること (0823)25-3459
- ◇体罰・セクハラ相談
パワハラ相談 (0823)25-3614

呉市教育委員会委員長公式サイト

寺子屋
好きなんよ呉

「歴史とものづくりのまち」呉の主なあゆみ

小中一貫教育関係法令等

呉市が進める小中一貫教育のあゆみ